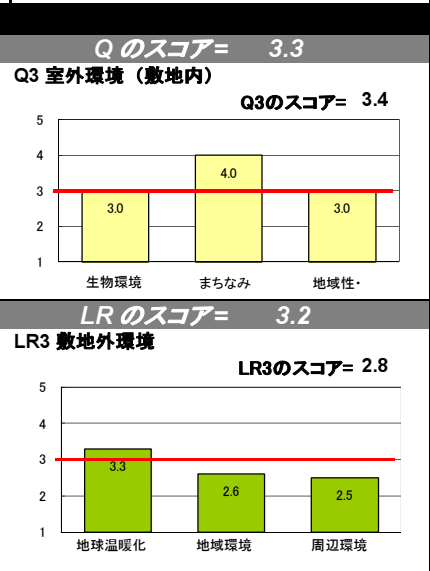
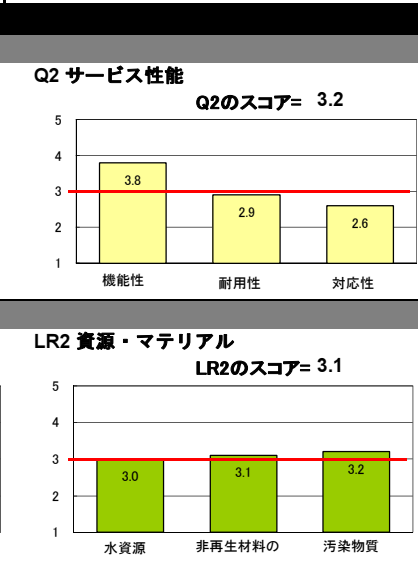
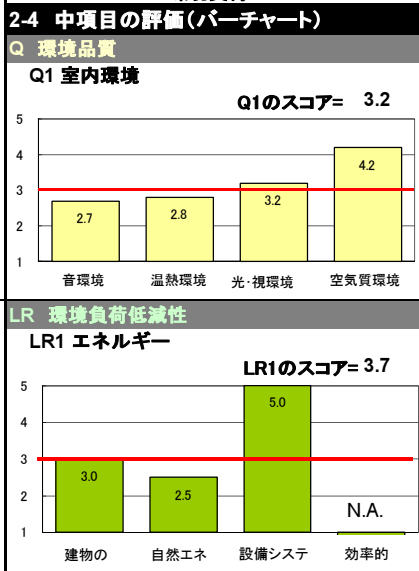
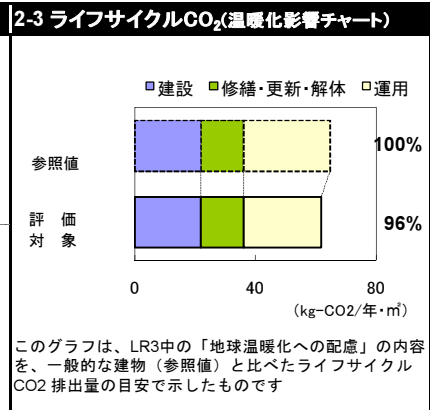
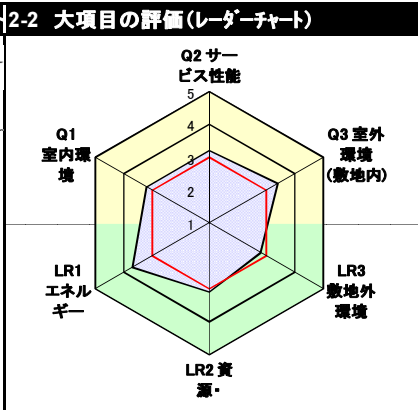
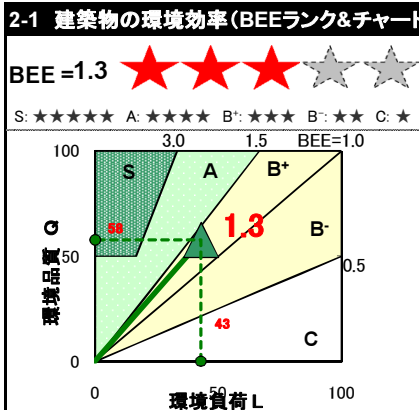


CASBEE™ 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)嵯峨嵐山計画 新築工事	階数	地上5F
建設地	京都府京都市	構造	RC造
用途地域	第1種中高層専用地域	平均居住人員	3人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2009年12月末 予定	評価の実施日	2009年1月5日
敷地面積	1,965㎡	作成者	
建築面積	1,041㎡	確認日	2009年1月5日
延床面積	4,062㎡	確認者	



3 設計上の配慮事項

総合	高性能断熱材を使用するなど省エネルギーに配慮した。	その他	特になし
Q1 室内環境	シックハウスに配慮した建材を使用。(F☆☆☆☆の建材の使用)	Q2 サービス性能	利用者にとって快適な空間づくりを心がけた。1・2階住戸は高齢者に使い勝手の良い空間とした。
LR1 エネルギー	エコキュートを採用した。	Q3 室外環境(敷地内)	景観や、町並みに配慮した。
		LR2 資源・マテリアル	水資源の保護に心がけた。(節水型の衛生器具の採用)
		LR3 敷地外環境	特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される